

様式48 (第88条関係)

| | |
|--------|-------|
| ×整理番号 | |
| ×受理年月日 | 年 月 日 |

液化石油ガス設備工事届書

年 月 日

佐賀県知事 殿

氏名又は名称及び法人にあ
つてはその代表者の氏名

印

住 所

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の3の規定により、
次のとおり届け出ます。

| | |
|----------------------|--|
| 工事に係る供給設備又は消費設備の所在地 | |
| 当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称 | |
| 当該設備の使用目的 | |
| 貯蔵設備の貯蔵能力 | |
| 工事の内容 | |

- (備考) 1. この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
2. ×印の項は記載しないこと。
3. 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

液化石油ガス法第38条の3の届出内容

1. 設備の名称、所在地及び工事期間 (別紙NO)

名 称 ㊦

所在地 供給戸数 戸

工事期間 年 月 日～ 年 月 日

2. 設備の所(占)有者

所(占)有者等 ㊦

管理者 ㊦

3. 上記にLPガスを納入する販売所の名称及び所在地等 (別紙NO)

販売所の名称 ㊦

販売所の所在地

上記設備と販売所間との距離 Km (車で 分)

業務主任者の氏名 供給開始 年 月 日

4. 供給設備の能力 kg × 本 = kg

容器設置本数の基礎計算 (別紙NO)

5. 最も近い火気及び、保安物件との距離 (別紙)

() 内に対象物を記入する ① 火気との距離 m ()

② 第1種保安物件 m () ③ 第2種保安物件 m ()

6. 容器の設置方法 (別紙NO)

① 警戒標 有・無 面 ② 消火器 型 本

③ 障壁 有・無 ()

④ 床面積 m^2 ⑤ 通気孔 cm^2 × 個 = cm^2

7. 自動切替調整器 (別紙NO)

メーカー名 型式 能力 kg/h

8. 気化装置 有・無 (別紙NO)

メーカー名 型式 能力 kg/h

加熱方法 ①電熱 ②電気温水 ③ガス温水 ④蒸気 ⑤その他

保守契約の有・無 契約先

9. バルブ、集合装置等腐蝕防止措置の材料及びその方法 (別紙NO)

10. 供給管配管の各径の総延長、材料及び腐蝕防止の方法 (別紙NO)

11. 工事従事者の設備士免状の写 (別紙NO)

12. 気密試験成績表の写 (別紙NO)

実施日 年 月 日

実施者氏名 _____

立会者氏名 所(占)有者氏名 _____

保安センター氏名 _____

13. 安全機器の種類 (マイコンメーター、遮断弁、警報器、漏洩検知装置等)
(別紙NO)

14. 特定液化石油ガス設備工事記録台帳の写 (別紙NO)

15. 特定液化石油ガス設備工事事業者の名称、受理年月日及び受理番号

名 称
受理年月日
受理番号

液化石油ガス設備工事届

(容器に係る供給設備の技術上の基準)

| | 内 容 | 適 ・ 否 | 備 考 |
|---|---|-------|-----|
| 供給設備の基準 (1つ以上 3つ未満) 規則 18条 二号 | 保安物件との法定距離確保(第1保安物件 16.97m、第2保安物件 11.31m)又は、障壁の設置 | 適 ・ 否 | |
| | 火気を取り扱う施設に対して5m以上の距離又は、流動することを防止する措置 | 適 ・ 否 | |
| | 液化石油ガスが漏洩したとき滞留しないような措置 | 適 ・ 否 | |
| | 貯蔵設備には、さく、へい等を設けること。 | 適 ・ 否 | |
| | 貯蔵設備には、その外部から見やすいように警戒標を掲げる | 適 ・ 否 | |
| | 貯蔵設備には、消火設備を設けること | 適 ・ 否 | |
| | 貯蔵設備には、不燃性又は難燃性の材料を使用した軽微な屋根又は遮へい板をもうける | 適 ・ 否 | |
| | 充てん容器等は、転落、転倒等による衝撃及びバルブ等の損傷を防止する措置 | 適 ・ 否 | |
| | 充てん容器等は、湿気、水滴等による腐食を防止する措置 | 適 ・ 否 | |
| | 貯蔵設備、気化装置及び調整器は、一般消費者等の液化石油ガスの最大消費数量に適応する | 適 ・ 否 | |
| その他の基準 規 則 1 8 条 四号～二十二号 | バルブ、供給管及びガス栓は、腐食、割れ等がない | 適 ・ 否 | |
| | バルブ、供給管及びガス栓への腐食防止措置 | 適 ・ 否 | |
| | バルブ、供給管の材料は、その使用条件に照らし、適切なものであること | 適 ・ 否 | |
| | 集合装置及び供給管の基準 | 適 ・ 否 | |
| | 調整器とガスメーター間の気密試験 | 適 ・ 否 | |
| | バルブ、集合装置、気化装置及び供給管の漏洩試験 | 適 ・ 否 | |
| | 燃焼器入口における圧力が、器具に適した圧力を保持している | 適 ・ 否 | |
| | 建物により供給管が損傷するおそれがないこと | 適 ・ 否 | |
| | 供給管は、地くずれ等、地盤の不同沈下等の恐れのある場所又は建物の基礎面下に設置しないこと | 適 ・ 否 | |
| | 供給管が、その周辺に危害を及ぼす恐れがあるときの危険標識の設置 | 適 ・ 否 | |
| | 供給管に液化物が滞留する恐れのある時の排除する措置 | 適 ・ 否 | |
| | 一般消費者等へ供給を中断することなく、容器等の交換ができる措置 | 適 ・ 否 | |
| 一の供給管から二以上の消費設備へ供給する場合は、ガスメーターの入口側にガス栓を設置する | 適 ・ 否 | | |
| 気化装置の基準 | 適 ・ 否 | | |
| 調整器の基準 | 適 ・ 否 | | |
| 地下室、地下街での設置基準 | 適 ・ 否 | | |
| ガスの自動停止装置又はガス漏れ警報器及び耐震自動ガス遮断機の設置 | 適 ・ 否 | | |

(別紙)

液化石油ガス法第 38 条の 3 の届出内容の気密試験成績表の写しの添付

自記圧力計チャート紙添付欄

実施日 年 月 日

気密試験実施者氏名 _____ 印
所(占)有者立会者氏名 _____ 印
保安調査事務所立会者氏名 _____ 印
保安調査事務所名 _____ 印